

紀尾井 だより

Kiei News

7/8

July / August
2025

Vol.172



紀尾井ホール室内管弦楽団
第144回 定期演奏会

澤和樹・鶴澤寛太郎・徳丸吉彦
タイプの違う“弦楽器”の融合を語る

連載

「邦楽を楽しもう！」

邦楽のレシピ『箏』

楽器編2

「クラシック音楽のテーマに基づく3話」
コロンゴルトをめぐる3つの話



日本製鉄 紀尾井ホール

紀尾井ホール室内管弦楽団の公演では、毎回、指揮者やソリストといった出演者や、採り上げる曲目とその組み合わせ——「プログラミング」に趣向を凝らしています。文学や舞曲（ダンス）を題材としたり、作曲年をテーマとしたり、作品同士の主題や動機の関連性に着目するなど、多彩な切り口で音楽の連関を描いています。

今回は第144回定期演奏会のプログラミングをご紹介します。

演奏するのは、ヴェーバー《オペロン》序曲、コルンゴルト《左手のための協奏曲》、メンデルスゾーン《夏の夜の夢》。ロマン派の馥郁たる初期から爛熟きわまる後期まで、およそ100年間の流れを縦断します。

3人の作曲家はいずれも作曲家であると同時に指揮者としても活躍した人物です。ヴェーバーは指揮棒を初めて用いた指揮者だとされ、メンデルスゾーンはパッサの《マタイ受難曲》を復活上演し、2人ともロンドンで人気を博しました。コルンゴルトはハリウッドに渡ってから映画音楽の作曲家兼指揮者として活躍しました。3人とも若くして——9歳前後で、その類まれなる才能が認められるようになったことも共通しています。



9月15日(月祝)、16日(火)に東京と大阪で開催する紀尾井ホール室内管弦楽団144回定期演奏会を当ホール制作プロデューサー 松本 學がご案内します。

作品面では、メンデルスゾーンの交響曲第1番にヴェーバー（およびベートーヴェン）の影響が見られます。作風としては、メンデルスゾーンとコルンゴルトでは流れるという以外に共通点を見出すのは容易ではありませんが、ここに2人を結びつける存在が現れます。

その人物は、マックス・ラインハルト（1873～1943）。当時、演出家や俳優、映画監督、プロデューサーとして活躍し、ザルツブルク音楽祭を創設した一人です。彼は1926年にコルンゴルトと出会い、29年にヨハン・シュトラウス2世《こうもり》をミュージカルに翻案した際には、その編曲を依頼。その成功を経て、1935年アメリカで発表した映画『真夏の夜の夢』では、サウンドトラックの編曲と指揮をコルンゴルトに託しました。サウンドトラックにはメンデルスゾーンの同名作はもちろん、『スコットランド』、『イタリヤ』、『交響曲や』、『春の歌』などの無言歌集など、ほかの作品も用いられています。

内容面でも、ヴェーバーとメンデルスゾーンはシェイクスピア作品との関わりが深く、『オペロン』は『夏の夜の夢』に登場する妖精の王の名であり、両作品の序曲は偶然にも1826年、同じ年に書かれています。

（次ページへつづく）

制作プロデューサーが語る、プログラミングのひみつ

紀尾井ホール室内管弦楽団 第144回 定期演奏会

さて、ここで今回の出演者をご紹介します。
しよう。コルンゴルトのソリストを務めるのは阪田知樹さん。阪田さんは2015年9月「紀尾井明日への扉」第9回に登場しています。コルンゴルト《左手のためのピアノ協奏曲》は、日本ではこれまで大阪交響楽団(2018)と広島交響楽団(2023)の2回しか演奏されていません。阪田さんの高度なテクニックだけでなく、豊かな音楽性と深い歴史的視点により、この難曲の真価が存分に引き出されることでしょう。

《夏の夜の夢》の音楽陣には三宅理恵さんと山下裕賀さんをお迎えします。三宅さんは2019年2月「紀尾井明日への扉」第22回、山下さんも2025年6月の同第45回に出演。リリカルな美声で妖精の歌を彩ります。さらにコーラスには、一般的な女声合唱ではなく、透明感あふれる児童合唱を採用しました。東京公演はTOKYO FM少年合唱団、大阪公演は大阪すみよし少年少女合唱団との共演で、無邪気に飛び回る妖精らしさそのままにお贈りします。

指揮の阪哲朗さんは、2013年のKCOデビュー以来、定期的に客演を重ね、今年5月の「響き合う和と洋 和楽器と紀尾井ホール室内管弦楽団」でもKCOと息の合った

演奏をお届けしました。今年3月には、自身が芸術監督を務めるびわ湖ホールで、コルンゴルトの歌劇《死の都》が大成功を収め、この作曲家の語法を熟知した一人です。

そんな阪さんは、大編成のオーケストラにはない、室内管弦楽団だからこそ出せる強みを最大限に生かし、精鋭メンバーが集まったKCOと「妖精が飛び交うキラキラした爽やかな夏の夜」をイメージできるような《夏の夜の夢》にしたいと語ります。

本公演を通じて、阪さんが言うところの「ファンタジー全開」な音の世界をお楽しみください。



© Ayustet

阪田知樹さんより メッセージ ✉

コルンゴルト《左手のためのピアノ協奏曲 嬰ハ調》を、阪哲朗氏指揮のもと、紀尾井ホール室内管弦楽団の皆様と演奏できることをとても楽しみにしています。ラヴェルに左手のための協奏曲の作曲を依頼したことで知られる、ウィーン生まれの左手のピアニスト、パウル・ヴィトゲンシュタインの委嘱によって作曲された本作品は、コルンゴルトが遺した唯一のピアノ協奏曲です。10代になる前から神童として活躍し、リヒャルト・シュトラウス、プッチーニ、マーラーらの巨匠たちから称賛されていたコルンゴルトは、本協奏曲を作曲した20代半ばには既に歌劇《死の都》の大成功によって偉大なオペラ作曲家の1人と目されていました。物語を想像させるようなロマンティックで美しい旋律に満ちたこの作品をお楽しみいただけましたら嬉しいです。

9/15

(月・祝)

14:00

紀尾井ホール室内管弦楽団 第144回定期演奏会

会場:東京オペラシティコンサートホール

9/16

☆

19:00

紀尾井ホール室内管弦楽団 第144回定期演奏会 大阪公演

会場:住友生命いずみホール

【出演】 阪哲朗(指揮)、阪田知樹(ピアノ)
三宅理恵(ソプラノⅠ)、山下裕賀(ソプラノⅡ)
[9/15] TOKYO FM 少年合唱団
[9/16] 大阪すみよし少年少女合唱団(合唱)
紀尾井ホール室内管弦楽団

【曲目】 ヴェーバー : 歌劇《オベロン》序曲
コルンゴルト : 左手のためのピアノ協奏曲嬰ハ調
メンデルスゾーン: 劇付随音楽《夏の夜の夢》



大阪・和歌山



徳丸吉彦
(企画監修)



澤 和樹
(ヴァイオリン)



鶴澤寛太郎
(義太夫三味線)

© ヒダキトモ

ヴァイオリンの第一人者

人形浄瑠璃文楽界のホープ

当ホール邦楽専門委員

澤 和樹・鶴澤寛太郎・徳丸吉彦

タイプの違う“弦楽器”の融合を語る

10月25日(土)に和歌山城ホール、26日(日)にフェニーチェ堺で開催する「響き合う和と洋」シリーズ公演で共演する澤 和樹さん(以下、澤)、鶴澤寛太郎さん(以下、寛太郎)と、シリーズを監修する徳丸吉彦さん(以下、徳丸)による座談会を開きました。

徳丸 お二人は今回、野平一郎さん作曲の新しい作品を演奏します。どんな作品なのか楽しみですね。澤さんはこれまで和楽器と一緒に演奏されたことが何回もありでしょう。

澤 邦楽の方とは結構ご縁がありまして。東京藝術大学在学中に同期だった故・松下功さんが積極的に邦楽と西洋音楽を融合させる曲を書いていて、彼が書いた能と弦楽四重奏のための《藤戸》という曲を、能楽師の野村四郎先生と澤クワルテットで共演しました。それからヴァイオリンと箏で宮城道雄作品も弾いています。

徳丸 以前、奏樂堂で箏の安藤政輝さんと澤さんが共演するのを拝見しました。澤さんははじめ指揮をなさっていましたが、共演曲ではヴァイオリンを演奏されましたね。

そして寛太郎さんは小ホールでチェロの岡本侑也さんと野平一郎「もつれ」太棹三

味線とチエロのための」を演奏されました。

寛太郎 完全に新曲を演奏するという経験はこの時が初めてだったんです。さらに五線譜で書かれていましたので、三味線譜に翻訳してもらい、岡本さんにずいぶん助けをいただいていたのとか形になりました。太棹三味線以外の楽器と一緒に演奏する機会は滅多にないので、今回の共演も私にとってチャレンジですし、とても楽しみです。

徳丸 寛太郎さんから見ると、西洋音楽の魅力とはなんでしょう。

寛太郎 まず響きが全然違いますよね。ヴァイオリンのように余韻がコントロールできる擦弦楽器とは一緒に演奏していて助かるなと思っています。

澤 寛太郎さんが言われるように、箏にしても三味線にしても、弦(糸)をはじいて音を出す楽器は瞬間的に音が減衰しますよね。ヴァイオリンなどの弦楽器は音をキープしたり、音の中で表情をつくったりすることができ。同じ「弦楽器」でも発音のタイプ、あるいはその響きのタイプが全然違う楽器の、融合の面白さですね。

徳丸 以前、このホールでは「午後の音楽会」というシリーズを開催して、面白い組み合わせをいくつもやりました。例えばバン

ドネオンと長唄で《ラ・クンパルシータ》と一緒に演奏したり。

澤 私は同郷の津軽三味線奏者で木乃下真市きのしたまふさんとも共演しましたよ。アンコールでモンテイの《チャールダーシュ》と一緒に演奏しました。

寛太郎 素晴らしいですね。津軽三味線は勘どころが「ドレミ」に近いと思っています。ヴァイオリンとは親和性が高いのではと想像します。義太夫三味線の場合は勘どころが違うので、そこをどうするのがよいかなと考えています。

徳丸 勘どころというのはフィンガー・ポジションですね。私もそこをどうやって二人で合わせるか興味があるんですよ。もししたら違う勘どころでやったほうが面白いかもしれない。あとは野平さんがどう仰るか。

澤 西洋音楽にしても、作曲家と演奏家の出会いでどんどん新しいテクニクが開発されたり、作曲技法も発達したり。野平先生も専門は西洋音楽だけれども、邦楽の演奏に触れてきつと新しい方法を思いついたりするでしょう。例えばベートーヴェンやブラームスなんか、専門はピアノですが弦楽の名曲をいくつも書いているし、そういう方が書いた曲のほうが芸術的に高かったりします。

徳丸 確かにそうですね。和歌山と大阪の公演では、義太夫節、ヴァイオリンの曲も演奏します。一つの演奏会の中でジャンルが違いう曲を一度に楽しめるし、演奏家にとっても互いに相手の音楽を知る、よい機会になると思うんです。

寛太郎 そうですね。それがきっかけとなってファン同士にも交流が生まれ、相互に行き来するようになったらとても嬉しいです。

10/25
⊕
14:00

日本製鉄文化財団 和歌山公演
紀尾井午後の音楽会
会場：和歌山城ホール 小ホール

10/26
⊖
14:00

フェニーチェ堺×日本製鉄紀尾井ホール
Japan Classic
～三味線ゆかりの地、堺できく和楽器と西洋楽器の融合～
会場：フェニーチェ堺(堺市芸術文化ホール) 小ホール

[出演] 菊央雄司(三絃)、菊重絃生(箏)、竹本小住太夫(浄瑠璃)
鶴澤寛太郎(三味線)、澤和樹(ヴァイオリン)、夢沼恵美子(ピアノ)
[曲目] 地歌「八島」、三味線組歌「堺」、義太夫節「鎌倉三代記 三浦之助母別れの段」
幸田延「ヴァイオリンソナタ No.1 変ホ長調」、貴志康一「竹取物語」
宮城道雄「春の海」
野平一郎 新作委嘱「もつれ／くくり～太棹三味線とヴァイオリンによる(仮)」

3.24(月) 紀尾井たっぷり名曲9 義太夫「絵本太功記 尼ヶ崎の段」豊竹呂勢太夫×鶴澤燕三

アンケートより

(文楽)本公演ではなかなか組まれない二人の素淨瑠璃が聴けて、力が入った演奏に感動しました。いつも人形に目がいってしまうので気がつかない床の魅力を知ることができてよかったです。



堀田力丸

4.4(金) 三菱地所 presents 紀尾井 明日への扉 第43回 河野 星(ファゴット)

協賛：三菱地所株式会社

今回がデビュー・リサイタルとなりました。ファゴットは、オーケストラではどうしても低音で支えるというイメージがありますが、ソロ楽器としても多彩な表情を見せ、心を温かくしてくれる優しい音色を聴かせてくれました。



逢坂聡

4.10(木) 邦楽 明日への扉 第7回 杵屋長寿郎・柏要二郎(長唄)

協力：森永製菓株式会社



主に歌舞伎の舞台上で活躍する二人。普段、客席からは見えない黒御簾の内側の様子を舞台上で再現したり、幕前で大薩摩を披露したりと、トークも交えて歌舞伎音楽・長唄の魅力をつつりと紹介してくれました。

堀田力丸

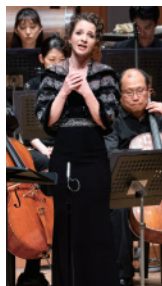
4.18(金)/19(土) 紀尾井ホール室内管弦楽団 第142回定期演奏会

特別協賛：三井不動産株式会社

協賛：住友商事株式会社 三井物産株式会社 三菱商事株式会社

アンケートより

ベルクの「7つの初期の歌」で、スヴェトリナ・スタヤノヴァさんの声を聴いて驚いた。響きの豊かさ、メゾとは思えない声域の広さ、聴いたことのない素晴らしい歌い手で、絶品だった。そして、休憩後のシューマン、公開リハーサルを聴いた時の期待を裏切らない演奏だった。



サッシャ・ゲッツェル



堀田力丸

邦楽を楽しもう！

邦楽の“レシピ”

楽器編 2

箏

こと

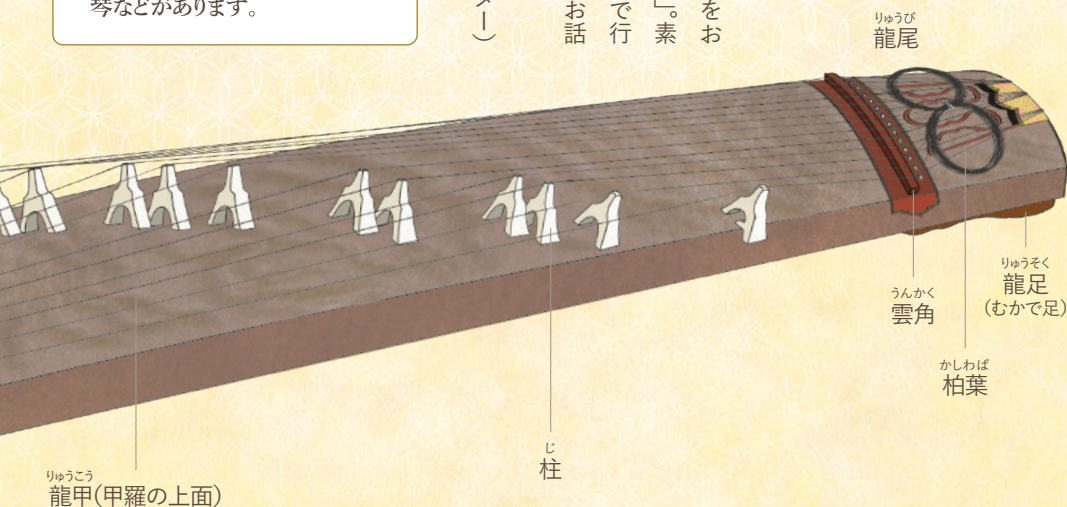
邦楽を楽しむための“材料”と“方法”をお届けする「邦楽の“レシピ”」第2弾は「箏」。素材選びから仕上げまでの全行程をひとりで行う箏師、「春野屋」の二代目川田浩和さんにお話を伺いました。

取材・文／織田麻有佐（邦楽ライター）

① 箏と琴はちがう楽器

箏は龍甲^{りゅうこう}と絃^じの間に柱を立てて、それを移動させて音高を変えますが、琴は柱を立てずに左手で絃を押さえて音高を変化させます。一般的な箏の絃数は13本、低音楽器の十七絃は17本で通常の絃より太いです。

琴には一絃琴^{いちげんきん}、二絃琴^{にげんきん}、七絃琴^{しちげんきん}などがあります。



- 箏は一面、二面と数えます。
各名称は龍になぞらえて付けられています。
- 絃は小売店が張ります。

⑤ 工芸品であり楽器

カッターや十数種類のカンナを使い分けての「削り」、大きなコテでの「焼き」といったダイナミックな作業の一方、音の反響のために甲羅の裏にノミで施す細工^{あやすぎ}「綾杉模様」や「すだれ目」、絃を支える「枕角^{まくらづの}」、龍尾の装飾「柏葉^{かしわば}」、「猫足^{ねこあし}」などの製作は、手先の器用さと根気が求められる繊細な作業です。これら一連の作業をマスターするには約10年かかるといいます。

「箏は工芸品だけど楽器。鳴ってこそ箏だからな、と父がよく言っていました」

工芸品としての美しさと、楽器としての機能を併せ持つのが箏なのです。

③ 箏の選び方

木目が詰まり、硬い材質の箏がよく響くとされています。ただ、硬い材質の箏を響かせるには、強い力で弾く必要があります。そこで演奏者の年齢や力量など自分に合ったものを選ぶことが重要です。

また巾柱（一番手前の柱）部分の木目が横に流れていると、巾柱を動かす際にひっかかりやすいので、できるだけ木目が縦に流れているものを選ぶとよいとのことです。

④ 「削り」が音色を決める！

春野屋では桐材店より荒甲を買い付けて箏に仕上げていきます。荒甲の買い付けでは、削り作業後の木目の出方を想像し、木の硬さなどを吟味する目が求められます。

音色を左右するのは甲羅の裏側の削りです。削り加減は均一ではなく部位によって異なり、甲羅の厚さを調整します。この削り加減は桐の材質によっても異なり、箏職人の経験と技術がもつとも必要とされます。甲羅の表側のソリ具合も重要で、ともに職人の特徴が出るところです。

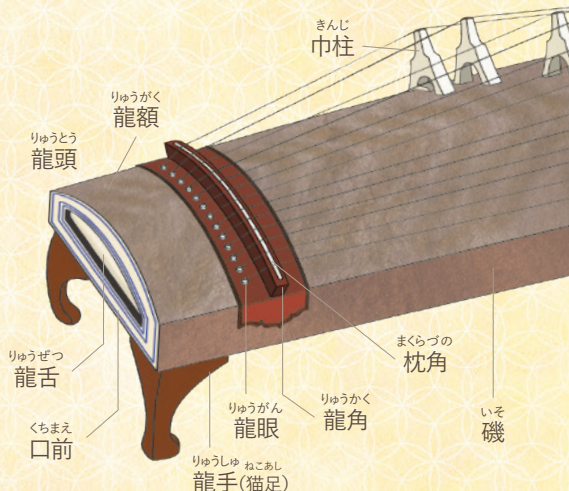
甲羅の裏側に裏板を接着剤で圧着します。その後、大きな焼きコテで表面全体を焼き、磨きます。この「焼き」作業によって音が響くようになります。

② 会津桐が最高！

一般的な箏の大きさは長さ約180cm、幅約25cm、重さ約6kg。本体（甲羅）の素材は桐で、その他の飾り部分は主に紅木や紫檀が使われます。

桐は、寒暖の差が大きい会津地方、特に標高が高く水はけが良い山地の斜面で育ったものが最適とされています。会津桐は、年輪幅が小さく等間隔に現れる木目が鮮明で、硬く粘りがあるといわれ、樹齢40年以上の木が好まれて製作されます。

伐採された丸太を野ざらしにして約1年間雨風にあてたのち、荒甲といわれる箏1面分の材料になるように製材してさらに雨風にさらし、天日で乾燥させます。ねじれや、割れを防ぐためです。



春野屋

箏師 川田浩和

箏の製作を一貫して手作業で行う数少ない箏職人のひとり。

埼玉県春日部市

クラシック音楽の
テーマに基づく3話

コルンゴルトを めぐる

3 つの話

エーリヒ・ヴォルガング・コルンゴルト
(1897～1957)は、20世紀前半の
ウィーンではおもにオペラ作曲家として、
亡命先のハリウッドでは映画音楽作曲家
として活躍しました。3人の人物とのか
かわりを中心に、コルンゴルトの生涯と創
作を見てみましょう。

1 シェイクスピアと コルンゴルト

オペラと映画音楽という二つの軸に象徴
されるように、コルンゴルトは物語のある
劇的な音楽を作る達人でした。

第一次世界大戦の終結期から1919年
にかけ、のちに彼の代表作となるオペラ《死
の都》に取り組んでいたのと時期を同じく
して、コルンゴルトはシェイクスピアの喜劇
『から騒ぎ』のための音楽を作曲しました。
大編成で音響も和声も豪華な《死の都》と
は対照的に、14曲からなる室内オーケスト
ラのための劇付随音楽《から騒ぎ》は素朴
で愛らしい作品に仕上がりました。そこか
ら4曲を抜粋したヴァイオリンとピアノの
ための組曲は、クライスラーやハイフェッツ
をはじめとする名ヴァイオリニストによっ
て演奏され、今日でも広く愛されています。
映画『真夏の夜の夢』(1934/35年米
国で制作・公開)は、コルンゴルトが初めて
携わった映画です。シェイクスピアの同名
の喜劇を題材にしたこの映画で、彼はメン
デルスゾーンの前付随音楽《夏の夜の夢》を
編曲し、指揮する役割を担いました。

彼は友人へ宛てた手紙にこう書いてい
ます。『夜想曲』をホ長調から変ホ長調へ
移調し、ホルン3本、トロンボーン3本、バス
チューバのために書き換えました(『メンデ
ルスゾーンの原曲のように』ホ長調のホル
ン1本では『夜想曲』ではなく『月想曲』に
なってしまいます)。これでやっと、漆黒の荘
厳な夜になりました。』
台詞と音楽のリズムが合うように役者に
稽古をつけたり、役者の動きや情景に合わ
せてオーケストラを指揮したりするのも彼
の仕事でした。細やかで革新的な映画音楽
の作り方が高く評価され、次々と映画音楽
の依頼を受けたコルンゴルトは、数年間
ウィーンとハリウッドを行き来します。とこ
ろが、ハリウッド滞在中の1938年にナ
チス・ドイツがオーストリアを併合すると、
ユダヤ系の出自のためウィーンへ戻ること
ができなくなり、亡命を余儀なくされます。

2 ラインハルトと コルンゴルト

ところで、映画『真夏の夜の夢』のために
コルンゴルトを米国へ招いたのは、オースト
リア出身の演出家マックス・ラインハルト
(1873～1943)でした。同じくユダ
ヤ系で、ドイツで活動していたラインハルト
は、1933年にナチスがドイツで政権を
獲得するといち早く亡命していたのです。
ラインハルトは、1920年にリヒャルト・

シュトラウス、フーゴ・ホーフマンスタールとともにザルツブルク音楽祭を創設したことでも知られ、また現在ウィーン国立音楽大学の演劇専攻は「マックス・ラインハルト・セミナー」と彼の名前を冠しています。

ラインハルトとコルンゴルトが初めて共演したのは、1929年のヨハン・シュトラウス2世のオペレッタ《こうもり》のリバイバル上演で、コルンゴルトの役目はやはり編曲と指揮でした。すでにいくつものオペレッタのリバイバル上演を手掛けていたコルンゴルトと、ドイツ語圏を代表する演出家ラインハルトのタッグは大成を収め、ふたりは良き仕事上のパートナーとなります。1942年には、ニューヨークで英語版の《こうもり》をロングラン上演へ導きました。



1934年のコルンゴルト(左)とラインハルト

ラインハルトはまた、1939年から42年にかけてニューヨークで若い役者のための演劇ワークショップを開講し、コルンゴルトはそのためにシェイクスピアのテクストによる歌曲を提供しました。こうして生まれた《十二夜》と《お気に召すまま》、《オテロ》の詞による9つの歌曲は、作品29および31として出版されています。

ラインハルトは終戦を見届けることなく1943年に亡くなりますが、妻で俳優のヘレーネ・ティミヒとコルンゴルト夫妻は晩年まで親しい関係が続けました。

3 ヴィットゲンシュタインとコルンゴルト

コルンゴルトは第二次世界大戦に翻弄されただけではありません。第一次世界大戦も彼の生涯と創作に大きな影を落としています。彼は、1917年初頭から終戦の1918年秋にかけて軍楽隊の音楽監督として従軍し、行進曲や士気高揚のための音楽、あるいは慈善のための音楽を作曲、指揮しました。戦争にかかわる音楽に特徴的な要素は、コルンゴルトののちの作品に

も散りばめられています。第一次大戦で右手を失ったピアノリスト、パウエル・ヴィットゲンシュタイン(1887〜1961)の委嘱で作曲された「左手のためのピアノ協奏曲」の英雄的な第1主題も、息の長い第2主題に続くかしましい行進曲風の第3主題も、その好例です。

父カールの事業の成功により大きな資産を築いたウィーンのヴィットゲンシュタイン家は、ヨーロッパ文化界のバトロンとしてもよく知られ、パウエルはラヴェルやリヒャルト・シュトラウス、ブリテンなど数々の作曲家に左手のためのピアノ協奏曲を委嘱しました。彼の依頼で、コルンゴルトは室内楽の金字塔の一つとも言える「左手のピアノ、2本のヴァイオリンとチェロのための組曲」も世に送っています。やはりユダヤ系であったため米国へ逃れたヴィットゲンシュタインは、コルンゴルトと亡命先でも同郷人として親交を持ちました。

文／中村伸子(音楽学)

紀尾井ホール室内管弦楽団
第144回定期演奏会

詳細はP4をご覧ください。

日本製鉄文化財団の公益事業にご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員 (五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略)

《特別協賛会員》 住友商事/日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所

《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/大林組/鹿島建設/商船三井/菅原/住友商事/日本郵船/丸紅/三井住友銀行/三井住友信託銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほか匿名2社

《ひびき会員》 オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらぼしフィナンシャルグループ/みずほ証券/山下設計

《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新號/今治造船/ヴォートル/エーケーディ/荏原冷熱システム/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/大成建設/千代田商事/テイスト・ライフ/東京ガーデンテラス紀尾井町/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージション/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21

《あおい会員》 青木陽介/浅沼雄二/浅見 恵/石崎智代/石田昌也/磯部治生/伊藤真理子/上野真志/馬屋原真行/江幡 淳/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/大花謙一/小川 保/小倉 ヒロ・ミハエル/角田実内愛/糟谷敏秀/片山國正/片山能輔/加藤善恵/加藤優一/金井俊樹/神川典久/川口祥代/菊池恒雄/木谷 昭/楠野貞夫/栗山信子/河野妙紀/小坂部恵子/小林雅紀/斎藤公善/坂詰貴司/坂根和子/佐久間庸行/佐野千紅/佐部いく子/柴田雅美/清水 正/清水多美子/清水康子/白土英明/新角卓也/鈴木順一/鈴木 幸/鈴木 亮/高下謹彦/高杉哲夫/田中 進/陳 艶君/田頭亜里/中尾武彦/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中村昌子/中山昌樹/原田清朗/藤村行俊/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松尾芳樹/真野美千代/丸井正樹/水口美輝/簗輪永世/宮島正次/宮田宜子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/ミュージ M/村上喜代次/村上敏子/持留宗一郎/茂手木優輝/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿実/山口 彰/山口 聡/横手 聡/吉田季光/渡邊一夫/渡辺由香里 ほか匿名46名 計247口

(2025年6月1日現在)

特別支援会員 (五十音順・「株式会社」等表記略)

アステック入江/五十鈴/NSユナイテッド海運/NSユナイテッド内航海運/エヌエスリース/エヌテック/王子製鉄/大阪製鐵/九築工業/草野産業/黒崎播磨/合同製鐵/鴻池運輸/小松シャリング/山九/産業振興/三晃金属工業/サンユウ/三洋海運/山陽特殊製鋼/ジオスター/新日本電工/スガテック/大同特殊鋼/大和製鐵/高砂鐵工/高田工業所/鶴見鋼管/テッゲン/電機資材/東海鋼材工業/東邦シートフレーム/トピー工業/日亜鋼業/日鉄SGワイヤ/日鉄エンジニアリング/日鉄片倉鋼管/日鉄環境/日鉄ケミカル&マテリアル/日鉄建材/日鉄鋳業/日鉄工材/日鉄鋼板/日鉄興和不動産/日鉄スチール/日鉄ステンレス鋼管/日鉄精圧品/日鉄精密加工/日鉄ソリューションズ/日鉄テクノロジー/日鉄テックスエンジ/日鉄ドラム/日鉄物産/日鉄物流/日鉄プロセッシング/日鉄保険サービス/日鉄ボルトン/日鉄溶接工業/日鉄レールウェイトクス/日本金属/日本触媒/濱田重工/富士鉄鋼センター/不動テトラ/幕張テクノガーデン/三島光産/宮崎精鋼/吉川工業/ワコースチール

日本製鉄

(2025年6月1日現在)

休館中のお問合せ先について

2025年8月1日～2026年12月末まで(予定)、当館は休館しますが、休館中も変わらずお電話でのお問合せは **03-5276-4500** (代表) で承ります。

編集後記

6月に入り、ホール沿いの土手も紫陽花が綺麗な色をつけています。シェイクスピアの戯曲『夏の夜の夢』、この「夏」は「夏至」を指しますが、日本の二十四節気「夏至」は夏至日(6/21ごろ)～小暑(7/7ごろ)までの約15日間。梅雨のジメジメも紫陽花を見ながら爽やかに過ごしたいものです。



公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号

TEL. 03-5276-4500(代表) FAX. 03-5276-4527

主催公演の最新情報や
チケットのご予約はウェブサイトで
<https://kioihall.jp>

